

日々、あらゆる場面において支援が必要となります。ご家族やご友人、地域の方々の見守りに加え、介護保険サービスをより多く活用することで、住み慣れたご自宅での生活を続けることができます。自発的に生活を送ることは難しくなりますが、多くの支援を活用することで、より安定した生活を送ることができます。

55 19 P22

ヘルパーさんの手伝いで、自分の好きなものを作って食べたり入浴したりしています。



19 P22

通い慣れた顔見知りのヘルパーさんから定期的な支援があります。



25 P23

地域の方々に見守ってもらっています。



11 P21

専門病院に行き、医師や看護師の助けを借りて生活しています。病気が不安定になったときには専門の医師が相談にのってくれます。



子どもたちが定期的に遊びに来られます。



5 P21

デイサービスで職員の支援を受けながら体を動かしたり、趣味の絵手紙やカラオケを楽しんでいます。コーヒーを飲むのも楽しみです。

50 52 54
63 64 P24

成年後見人は私のお金の管理を手伝ってくれます。



12 P21

訪問診療を利用することで、医師や看護師が自宅へ来て、健康管理をする支援があります。



46 P24

家族介護者教室に参加して介護の負担を軽くするため技術や知識を学んでいます。

31 P23

おまわりさんが声をかけてくれるから安心です。



頼れる人と電車に乗ってお墓参りに行きます。



33 P23

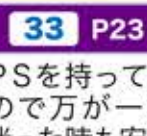
GPSを持っているので万が一道に迷った時も安心です。



施設での生活

57 58 P22 40 43 P23

夫の介護負担を減らすためにショートステイを始めとした様々な介護サービスをフルに利用しています。



22 P22 39 41 P23

グループホームや特別養護老人ホームなど住まいの選択をケアマネジャーに相談しています。



おうちでの生活

街道はDタイプにつづく→

まちだ・ほほえみ街道